

油木高校3年生進路決定状況【速報】



★合格した私大・短大・専門学校・就職
 〈産業ビジネス科〉
 明治大、東京農業大(2)、南九州大(2)、福山大、広島化学園大、新見公立短期大、広島県立農業技術大学校(2)、島根職業能力開発短期大学校、公益財団法人中国四国酪農大、穴吹動物専門学校、穴吹調理製菓専門学校(3)、岡山県立南部高等技術専門学校、広島県立三次看護専門学校、西日本調理製菓専門学校、広島工業大学専門学校、広島県東部美容専門学校、広島外語専門学校、福山医療専門学校、日本フラーデザイン専門学校、広島福祉専門学校、有限会社田島組、畑中建設、池田糖化工業株式会社、株式会社西日本メタル福山事業所、介護福祉サービズ株式会社ゆうゆう、株式会社宇田製菓、ヤマモトロツクマシン株式会社東城工場、日東粉化工業株式会社東城工場、社会福祉法人東城有栖会、カイハラ産業株式会社、老人福祉施設ピープル神石三和、社会福祉法人翁仁会、マルト製菓株式会社

★合格した国公立大学
 ☆広島市立大学・国際学部【推薦】
 【普通科 油木中 出身】
 ☆尾道市立大学・芸術文化学部【推薦】
 【普通科 豊松中 出身】
 ☆島根大学・総合理工学部【一般】
 【普通科 油木中 出身】
 ☆島根大学・人間科学部【一般】
 【普通科 油木中 出身】
 ☆徳島大学・理工学部(夜間主)【一般】
 【普通科 豊松中 出身】

連携型入試には、連携校(三和中・神石高原中)のみ志願できる。

◆連携型入試・選抜Ⅰの志願状況◆ ※()内は選抜Ⅰ

学科名	定員	志願者数	志願倍率
普通	40 (0)	30 (0)	0.75 (-)
産業ビジネス	25 (3)	6 (4)	0.24 (1.3)

◆選抜Ⅱの志願状況◆

学科名	定員	志願者数	志願倍率
普通	10	6	0.60
産業ビジネス	31	23	0.74

平成29年度県立油木高校
 入学者選抜志願状況

〈普通科〉
 広島修道大(3)、福山大(3)、広島工業大、広島経済大、比治山大、福山平成大、就実大、神戸学院大、京都産業大、京都造形芸術大、江戸川大、岡山医療福祉専門学校、大阪外語専門学校、広島コンピュータ専門学校、小井手ファッショントレーディング専門学校、穴吹調理製菓専門学校、朝日医療大学校、福山市医師会看護専門学校、広島県厚生連尾道看護専門学校、株式会社玉子屋、カイハラ産業株式会社、日本郵便株式会社中国支店、広島県職員警察官、広島県職員小中学校事務

全国ユース環境活動発表大会

全国選抜16校中、中国ブロック代表として産業ビジネス科2年生の高橋里奈さんと森田有咲さんが出場。イノシシの皮から墨汁を作る研究を発表し、みごと『優秀賞』を獲得しました。



全国なまぐサミット 2017 in 吉川

時：H29. 2. 18.
 於：埼玉県吉川市



全国からナマズで町おこしをしている7つの自治体と油木高校が参加。油木高校から米田光輝・横山賢・妹尾航汰くんの3名が実践発表し、参加者から高い評価を受けました。

神石高原町連携型中高一貫教育ジャーナル 高原の風

第18号
 2017. 3. 15

平成28年度 広島県立油木高等学校 卒業証書授与式

平成29年3月1日



在校生代表送辞

卒業生代表答辞



卒業証書授与



校歌斉唱



最後のホームルーム



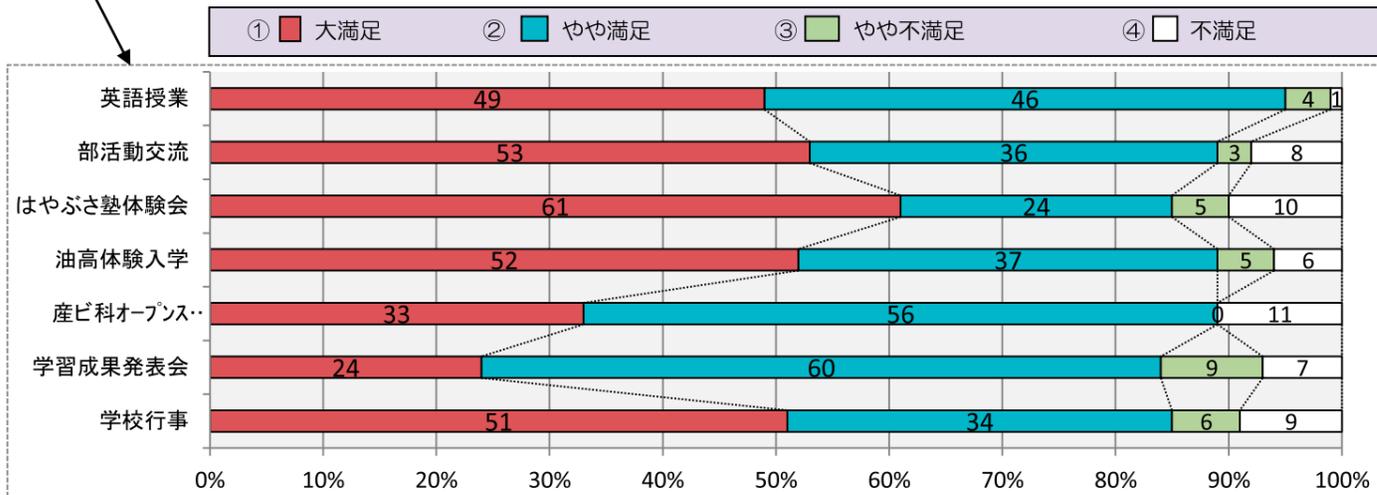
神石高原町連携型中高一貫教育支援会議

連携型中高一貫教育に係るアンケート調査の結果と考察

本年度も町内の全中学生(183人)・油木高校生(197人)・小学校4～6年生保護者(175人)・中学校保護者(183人)・地域(100人)・中高教職員(55人)を対象として、見出しのアンケート調査を実施しました。その結果と考察の一部を紹介します。

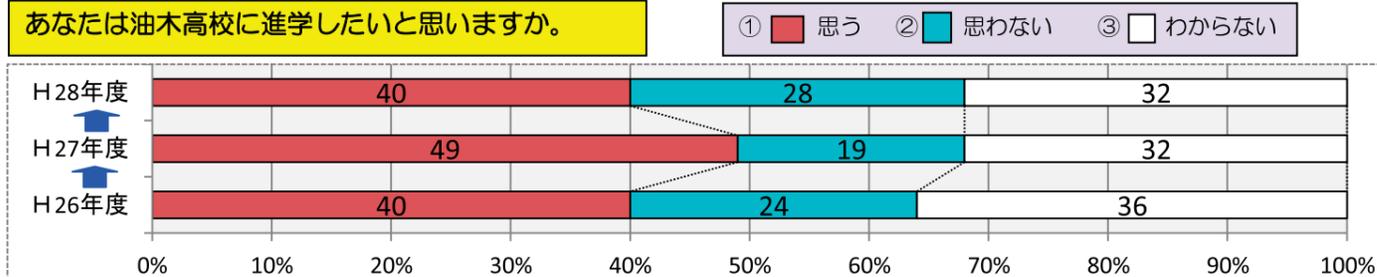
中学生編

次に示す連携教育(交流授業・部活動交流・合同行事など)を受けた人で、どんな感想を持ちましたか。



考察 すべての項目において「大満足」「やや満足」の肯定的評価が80%以上という高い評価であり、生徒の受け止めは概して良好である。それだけに今後一層積極的な連携教育活動が展開されることを期待している。

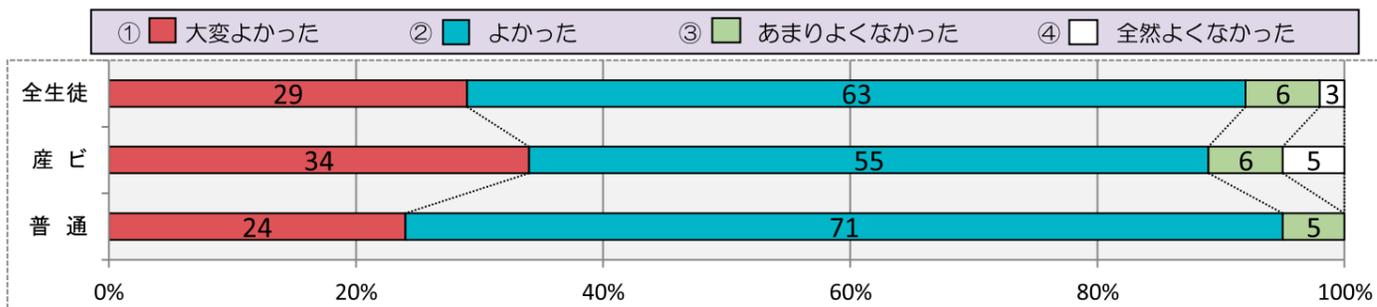
あなたは油木高校に進学したいと思いますか。



考察 例年では「思う」が前年度数値よりも高くなっていましたが、本年度は49%→40%に低下した。一方、「思わない」は28%と過去最高値(前年19%、前々年24%)であった。しかし、実質過去3ヶ年の油木高校への地元入学率は、65%→65%→66%と60%以上を維持してきている。今後もこの数値を堅持していけるように教育実績の向上や教育条件の拡充整備に努めていく必要がある。

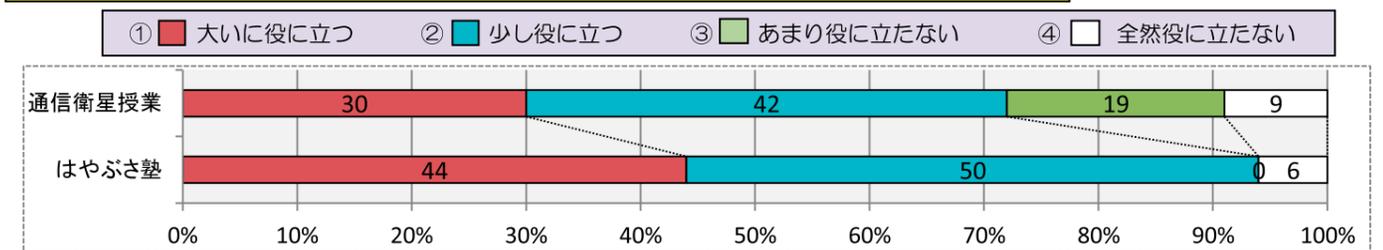
高校生編

あなたは油木高校へ進学して、現在どのように思っていますか。



考察 全体的には、例年と同様に多くの生徒(92%)が「よかった」と肯定的評価をしている。しかし、「大変よかった」とする生徒は、29%とここ3年間で減少傾向(45%→35%→29%)にある。「よくなかった」との否定的評価では、産業ビジネス科が高く、進路選択時の学科理解や将来を見据えた決定が重要と思われる。

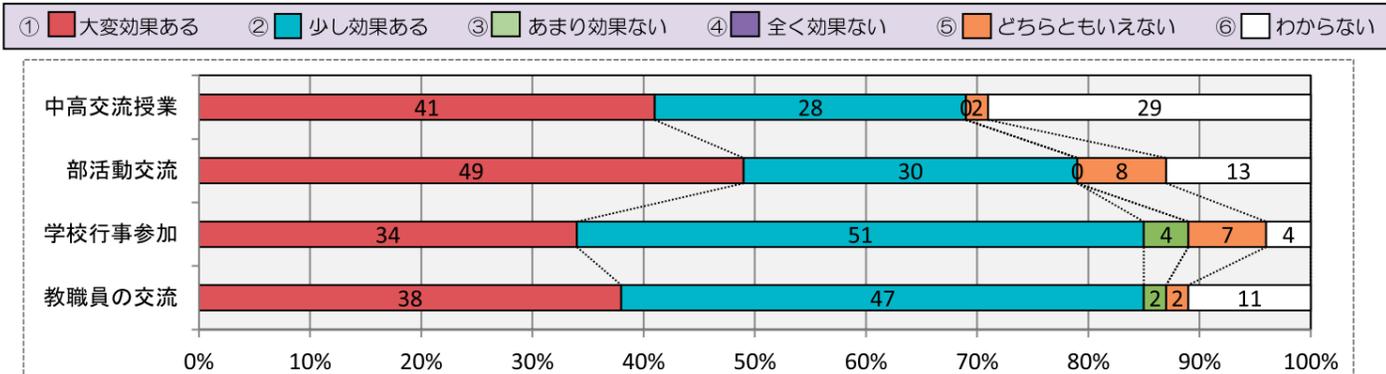
通信衛星授業・「はやぶさ塾」を受講した人で、受講してみた感想はいかがですか。



考察 受講生の多くは普通科生で、その多くが「大いに役に立つ」「少し役に立つ」と感じており、その理由として、通信衛星授業では「予習復習に役立つ、とても分かりやすい、大学受験に役立つ、集中して出来る」などで、一方「はやぶさ塾」では「分からないところが聞ける、自分のペースで出来る、分かりやすく教えてもらえる、勉強方法が知れた」などの意見が多かった。

教職員編

中高連携(交流授業・部活動交流・学校行事への参加・教職員の交流)の効果についてどう思われていますか。

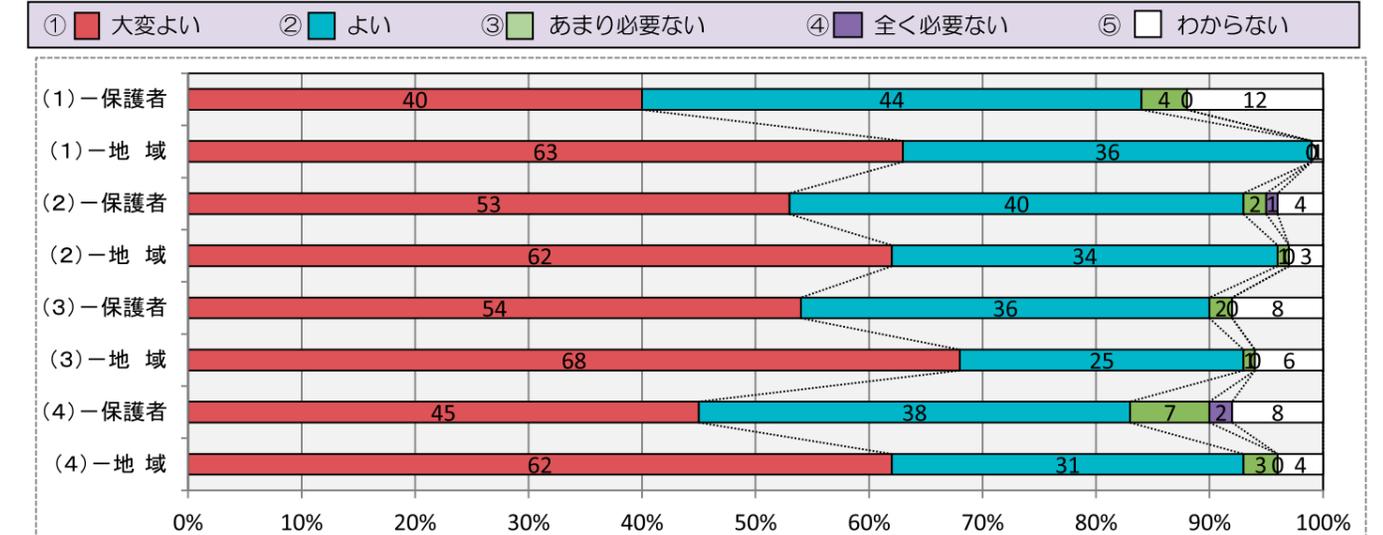


考察 すべての項目において「大変効果ある・少し効果ある」の肯定的評価が60~80%と半分以上を占めており、多くの先生方がその効果を認めておられる。しかし、今後一層の教育効果を上げていくためには、指導者側の教職員すべてが連携教育への確固たる意義を感じていることが重要で、その反省の上に立った新たな取り組みが必要に思う。

小・中保護者・地域編

本町が油木高校の魅力策として様々な教育支援を実施していますが、それらについてどう思われていますか。

- (1) 通信衛星授業の受信補助について
- (2) 部活動での遠征費補助について
- (3) 公設学習支援塾の開設について
- (4) 海外短期研修(語学・農業)事業への支援について



考察 本年度もすべての項目において、保護者・地域共に80%以上の者が「よい」との肯定的評価である。つまり、保護者・地域の期待度が高いだけに、今後とも支援制度の継続と中身の充実を図りながら、更なる油木高校の魅力づくりに繋げていく必要がある。